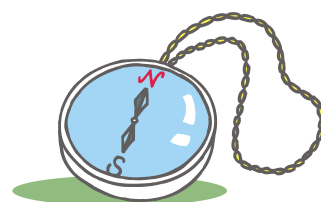


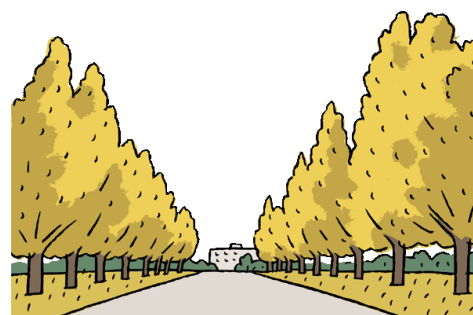
羅 針 盤

第 22 号 令和3年（2021年）11月15日（月）



◆ 時間の流れ方

自然界には本当にたくさんの動物が生息しています。人間も含めて、多種多様な、色や形、そして、大きさも様々です。ところが、実は生物学的にいうと、共通していることもあり、どの動物も心臓が脈拍を15億回打つと寿命がくるのだそうです。どういうことかという、例えばハツカネズミは、1分間に600～700回も脈拍を打ちます。1回の脈拍に、たったの0.1秒しかかからないというわけです。反対に、体の大きなゾウは、1回の脈拍に3秒もかかります。この脈拍1回にかかる時間を「心周期」といいますが、心周期が違えば、呼吸のペースや食事をしてからの消化、排泄するまでの時間など、生きているうえでの所要時間がそれぞれ違うことがわかっています。このことは、おおよその体の大きさに比例しているといわれています。そうすると、毎日の暮らしぶりも随分と違ったものとなります。ハツカネズミはチョロチョロと動き回るので酸素消費量が高く、1日のうちの10時間以上を寝て過ごしています。逆にゾウは、のっそりと動くため省エネタイプであるといえます。体が大きいので、1日のほとんどを食べることに費やして、睡眠時間は3時間程度でいいそうです。ハツカネズミの寿命は2～3年、ゾウは70年以上生きます。この年月は違う時間の長さのように思われますが、脈拍数15億回という単位で考えれば、同じ長さであるということになります。同様に人間の寿命を考えると、脈拍数15億回は約27歳で寿命を迎えることとなりますが、人間はもっと長く生きられるようになりました。その理由は医療や文化の発展などが挙げられます。日本人の寿命が約80年ほどだと考えると、なんと53年分もの年月を多く過ごせるというわけです。この時間を、有意義なものにしたいですね。



◆ 進路に向けて

先週末の11月12日（金）に、体育大会が開催される予定でしたが、残念ながら雨天により運動場の状態が不良であることに伴って、明日の11月16日（火）に延期となりました。今年も、競技時間を短縮し、また、競技種目を減少させ、規模を縮小しての実施となりますが、赤団、青団、黄団の3つに分かれての熱のこもった競技が行われ、最後まで全力を出し切って、活気あふれる体育大会が実施されることを期待しています。

先週の一週間は、3年生の皆さんは進路懇談会が行われました。体育大会では種目ごとに競技が行われることによって、「勝ち」「負け」がはっきりとしています。しかしながら、進路選択では「勝ち」「負け」はありません。自分にとってのより良い進路を、自ら考え、自ら納得したうえで、選ぶべきものです。お家の方とも十分に話し合いをしたうえで、進路を選んでいく必要があります。ときには、思い悩み、お家の人と意見が合わないことから衝突するような場面もあるかもしれませんが、自分自身の進路決定から決して逃げることなく、自分自身の考えとしっかりと向き合ってもらいたいと思います。周りにいてくれる君たち一人ひとりを支えてくれている人たちと、しっかりと相談をしたうえで、自分自身の進路を自らの手で決定してほしいと思います。